

2006年度 ゆきとどいた教育をすすめる

# 全国3000万署名・推進ニュース NO. 31

発行日:2007年2月27日 発行:全教・日高教・教組共闘

## 813万2593筆の署名を、国会に提出!

「ゆきとどいた教育をすすめる会」は2月23日、全国3000万署名を国会に提出しました。今年度の提出数は813万2593筆となりました。

衆議院議員面会所には、都教組・埼教組などの首都圏組織と私学の仲間、そして3000万署名運動の企画委員等、30名近い父母と教職員が集いました。

提出行動にあたり、主催者あいさつした石元全教委委員長は、「7月のスタート集会以来、3000万署名は、教育基本法の改悪阻止のたたかいと固く結んでとりくまれた。多くの署名に託された父母・国民の思いは、教育基本法の理念を生かし、教育の機会均等、教育条件の整備を求めている」と述べ、国民的な運動をさらに高めていこうと呼びかけました。

3000万署名の紹介議員であり、この提出行動に駆けつけた日本共産党国会議員を代表して、副委員長の小野田史典議員は、「教職員・父母の願いをしっかりと受け止め、教育予算を増やすためにがんばりたい」と述べました。また、国会情勢についても触れ、「教育再生会議の報告や教育関連法案の動きは、国民の願いとはまったく正反対のもの。教育関連法案を阻止するためにがんばりたい」と強調するとともに、憲法改悪のための手続法である国民投票法案についても、絶対許さないとの立場を表明しました。

全国私教連の永島書記長からは、「私学助成が1%削減された。これは教育基本法改悪のねらいを如実に示している。今後もこの3000万署名を大きな目標でがんばりたい」と決意が語られました。

最後に、谷全国私教連委員長が「国会の中で、この署名に込められた声を生かすためにがんばって欲しい」と国会議員に訴え、提出行動を終了しました。

国会への提出にあたって、紹介議員を応諾していただいた国会議員は58人。政党別の紹介議員数は、共産党(衆9、参9)、社民党(衆2、参1)、民主党(集25、参8)、自民党(衆2、参2)、公明党と国民新党は(衆参共に0)(紹介議員数は2月15日現在計)。

### <お願い>

23日に署名を提出しましたが、その後も全教本部に遅れて署名が届けられています。また「分会から本部に届いたので、これから送付したい」等の連絡があります。そこで、3月中旬に追加提出したいと考えています。1筆も無駄にできません。まだ、署名が残っているようでしたら、すぐ全教本部に送付してください。

どうぞ、よろしくお願ひします。



**各地で成果!** 山口県での成果を前号で紹介しましたが、他の県でも少人数学級が前進しています。

京都市では、この4月から中学校3年生で、30人学級が実施されることになりました。また、大阪では、現在小学校1年生が35人、2年生が38人ですが、4月からは2年生も35人学級となります。